

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第1項に基づく

教育委員会の点検・評価

(平成22年度対象)



平成23年6月

酒々井町教育委員会

1 はじめに

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、各教育委員会においては、毎年、教育行政事務の管理執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくために、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定に基づき、平成22年度の教育委員会の点検・評価を行いましたので報告するものです。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

酒々井町教育委員会委員名簿（平成23年3月現在）

職 名	氏 名
委 員 長	坪 内 東 公
委員長職務代理者	小 山 優 子
委 員	大 谷 文 男
委 員	浦 壁 京 子
委員兼教育長	子 安 昌 人

2 教育委員会会議の開催状況等

教育委員会会議は、原則として毎月1回「定例会」を開催し、必要に応じて「臨時会」を開催します。平成22年度は合計で13回開催しました。

- (1) 定例会・・・12回
- (2) 臨時会・・・1回

また、教育委員会の所管事項について調査・研究する委員協議会（放課後懇談会）を平成22年度は17回開催しました。（小中学校の授業参観、佐倉市内の教育施設視察、山武市教育委員との意見交換会、次年度教育施策の検討など）

3 教育委員会会議での審議状況

酒々井町教育委員会行政組織規則第7条の規定に基づき、平成22年度は合計で34件について審議しました。

- (1) 教育行政の運営に関する基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・1件
- (2) 教育委員会規則及び訓令を制定及び改廃・・・・・・・・・・1件
- (3) 予算その他議会の議決を要する事件についての意見申出・・・6件
- (4) 教育事務に係る特に重要な契約に関する事・・・・・・・・・・1件
- (5) 職員の任免その他人事に関する事・・・・・・・・・・1件
- (6) 教育に関する事務の点検・評価に関する事・・・・・・・・・・1件
- (7) 教育長の任命・・・・・・・・・・・・・・・・・・1件
- (8) 附属機関の委員の委嘱・・・・・・・・・・・・・・・・・・9件
- (9) 教育委員会の表彰に関する事・・・・・・・・・・1件
- (10) その他、重要な事項に関する事・・・・・・・・・・12件

規則に基づく審議案件の他、報告事項、協議事項についても取り扱いました。

報告事項（36件）の概要

- (1) 教育委員会の各種行事等の報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・12件
- (2) 町予算の議決に関する報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・6件
- (3) こども課（子育て支援班）等の町規則等の制定・・・・・・・・・・4件
- (4) 重要な契約に関する報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・3件
- (5) 教科用図書採択に関する報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・1件
- (6) その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・10件

協議事項（2件）の概要

- (1) 選出依頼のあった各種審議会等の委員の選考・・・・・・・・・・2件

月別の主な審議議案等の概要

実施月	審議議案	報告事項	協議事項	主な審議案件等
4月定例会	3	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 準要保護児童生徒の認定 ・ 教科書印旛採択地区協議会委員の選出
5月定例会	7	2		<ul style="list-style-type: none"> ・ 私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則の一部改正 ・ 評価委員の委嘱
6月定例会	1	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教委事務局職員の異動 ・ 耐震補強・大規模改造工事請負契約の締結
7月定例会	3	1		<ul style="list-style-type: none"> ・ 点検評価報告書 ・ 教科用図書採択
8月定例会	2	1		<ul style="list-style-type: none"> ・ 9月補正予算（案） ・ 準要保護児童生徒の認定
9月定例会	3	4		<ul style="list-style-type: none"> ・ 公運審委員の委嘱 ・ 委員長、職務代理の選挙
10月定例会	2	2		<ul style="list-style-type: none"> ・ 町体育館検討委員会委員の委嘱 ・ 図書館の臨時休館
11月定例会	3	4		<ul style="list-style-type: none"> ・ 12月補正予算（案） ・ 図書館の臨時休館
12月定例会		4		<ul style="list-style-type: none"> ・ 耐震補強工事契約変更 ・ ひとり親家庭放課後児童クラブ利用助成金支給要綱
1月定例会	3	2		<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会表彰の選考 ・ 1月補正予算（案）
2月定例会	3	3		<ul style="list-style-type: none"> ・ 新年度の当初予算（案） ・ H23教育施策の策定
3月臨時会	1			<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員の辞職同意
3月定例会	3	7		<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育長の任命 ・ 学校評価の報告
合計	34	36	2	

4 事務事業の点検・評価の目的及び対象

効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくために、平成22年度教育委員会の基本理念、重点施策、推進目標に基づく、各課、教育機関における主要事業を中心に、22事業について点検・評価を行いました。

5 点検・評価の方法

点検・評価の実施にあたり、教育委員会事務局で作成した「教育施策評価表」により実施しました。

評価は、主要事業の取り組み状況（達成度）について、実績・成果・課題を記述し、AからEの5段階で評価するとともに、今後の方向性を、拡大、現状維持、改善、統合、期限付、休止、廃止の7段階に評価する方法で行いました。

なお、法の規定に基づき、学識経験者3名にご意見をいただいています。

(1) 取り組み状況（達成度）

- A 予定どおり順調に達成している
- B おおむね順調に達成している
- C 達成見込みであるが課題がある
- D 達成できなかった
- E その他

(2) 方針の分類（今後の方向性）

- 拡大・・・事業を拡大充実する
- 現状維持・・・現状を維持継続していく
- 改善・・・対応すべき改善対策を付して事業を継続する
- 統合・・・独立した事業とせずに他の事業へ含める
- 期限付・・・終期を設定して、そのまま事業を継続する
- 休止・・・事業を休止する（復活の可能性あり）
- 廃止・・・事業をやめる

6 点検・評価の結果

事務事業評価表により点検・評価を実施した22事業の結果は、次のとおりです。また、詳細については、「平成22年度教育施策評価一覧表」を添付しました。

(1) 取り組み状況（達成度）

A 予定どおり順調に達成している・・・11事業

B おおむね順調に達成している・・・11事業

(2) 方針の分類（今後の方向性）

拡大・・・・・・ 2事業

現状維持・・・・19事業

休止・・・・・・ 1事業

7 まとめ

当町教育委員会では、課題の取り組みや方向性を明らかにし、効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに、町民の皆様への説明責任を果たし、信頼される教育委員会を目指すひとつの方策として点検・評価を実施しました。

また、今年度から、平成22年度酒々井町教育施策として策定した基本理念「しなやかに・・・すこやかに・・・いきいきと・・・」に基づき、重点施策、推進目標を策定し、これらに基づく各課、教育機関における主要事業について、点検・評価を行いました。

評価を実施した主要事業については、事業の目的に従い、計画的に実施されていることから、概ね適正かつ順調に執行されたものと判断していますが、実施方法に工夫や改善が必要である事業も見受けられますので、次年度の予算編成や事業計画を策定する上で検討を重ね、さらに町民の皆様のご意見を取り入れながら、高まる教育ニーズに対応することが必要であると考えています。

なお、今回の点検・評価の結果については、町ホームページによる公表を行いますので、町民の皆様からご意見等をいただき、今後の事務事業の執行に反映させていきたいと考えています。

※ 評価委員会委員

職名	氏名
委員長	篠原 透
委員	土井 仁
委員	大月 美恵子

平成22年度事業に係る委員会開催状況

第1回委員会 3月16日（水）

第2回委員会 3月24日（木）

教育委員会の点検・評価

平成22年度 教育施策評価一覧表

教育施策体系図

将来都市像

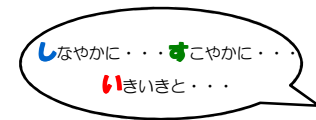
基本目標

基本理念

重点施策

推進目標

主な事業



人と自然と文化が奏でるしあわせハー
ー・酒々井

豊かな心を育み生きがい
る
くり
教育文化

しなやかに...
すこやかに...
いきいきと...

1 地域教育力の向上

- (1) 教育委員会の活性化
- (2) 教育機関、各種団体等との連携協力
- (3) 積極的な広報活動

2 教育環境の整備充実

- (1) 学校施設等の整備充実
- (2) 子育て支援の充実
- (3) 学校運営への支援
- (4) 特色ある教育活動の推進
- () 教育 の整備
- () 教職員の資 向上

3 生 学習の推進

- (1) 生 学習事業への 進
- (2) 学習機会の拡充及び学習活動の支援
- (3) 教育機関の施設整備及びサー スの充実
- (4) くりの推進

4 スポーツと文化の創

- (1) 文化財の保存整備と普及・活用
- (2) スポーツ・レクリエーションの推進

- (1) ①教育委員会議の工夫、公開 ②委員研修、放課後懇談会の充実
①順天堂大学との相互協力 ②スクールボランティアによる支援
- (2) ③キャリア教育の推進 ④地域学習の推進 ⑤カレッジコース
受講生の講師活用 ⑥学校給食における地産地消の推進
- (3) ①勝っタネ!くんの活用 ②ホームページの充実
- (1) ①学校施設の耐震補強・維持管理②給食センターの改修・維持管理
①子ども医療費の助成 ②子ども手当・児童手当の支給
- (2) ③保育園の円滑な運営 ④放課後児童クラブ・放課後子ども教室
⑤私立幼稚園就園奨励費補助金の支給・私立幼稚園運営費の助成
- (3) ③小学校の英語活動の充実 ④図書館教育の充実
⑤学校適応専門相談員の配置
- ①人権同和教育の推進 ②教職員の創意ある教育活動の支援
- (4) ③小中連携推進事業の推進 ④小学校社会科副読本の作成
⑤豊かな心を育むCTSプラン事業の推進
- () ①学校図書の実 ②スクールバスの運行 ③就学援助事業
④学校給食の実
- () ①教職員研修の実 ② ネットの推進
- (1) ① 教育学 の工夫充実 ②子ども会の円滑な運営 ③人権教育
セミ ーの実 ④順大生 学習公開講座 ⑤ 相談員活動
- (2) ①主催講座及びイベントの拡充
②公民館施設の円滑な運営
- (3) ①公民館施設の計画的な改修と維持管理 ②プレミアム酒々井の
各種機器等の維持管理 ③図書館システムの更新
- (4) ①栄養指導の実 ②「給食だより」等の配布
- ①本 整備に る基本設計作成と調査整備委員会の実施
- (1) ②ボランティア イ の育成 ③ ーキン の実施
④文化財管理及び景観資源の基本調査
- ①各種スポーツ教室・大会の開催
- (2) ②活動の場となる体育施設の有効活用
③ゆめ半島千葉国体、印旛郡市民体育大会の円滑な開催

平成22年度 教育施策評価一覧表

重点施策 1 地域教育力の向上

推進目標（1）教育委員会の活性化

事務事業名	事業概要	取組状況	決算見込額 (単位：千円)	成果・効果	課題 問題点	今後の方向性
②委員研修、放課後懇談会の充実	教育行政の適正な運営のため、放課後懇談会を引き続き実施するとともに、町内外の研修会に積極的に参加する。	A	143	放課後懇談会は、先進地視察、授業参観、耐震補強工事視察等17回開催した。		現状維持

推進目標（2）教育機関、各種団体等との連携協力

①順天堂大学との相互協力	相互協力協定に基づき、小中学校の授業や部活動に対する学生ボランティア派遣や教育実習の受入を実施	B	0	ボランティア登録者13名 小学校：体育指導、教育相談補助 中学校：サッカー等の部活動指導	年度による登録数の違いはあるが、継続実施していく	現状維持
⑥学校給食における地産地消の推進	地元で生産された安全で新鮮な野菜や加工品を積極的に取り入れ、地産地消を推進する。	B	1,476	賄材料費の野菜部門、地場産物使用目標8%→14.01%（14品目）を達成 米は100%酒々井産	地場物産品の安定した納品のための情報収集	現状維持

推進目標（3）積極的な広報活動

②ホームページの充実	町ホームページに教育委員会の独立したページを7月から新設し、教育関連情報を提供する。	A	0	各種情報提供に努めた。 小中学校紹介 給食献立 人権教育セミナー 耐震補強状況		拡大
------------	--	---	---	--	--	----

【評価委員会からの意見等】

① 順天堂大学との相互協力

- *酒々井町ならではの素晴らしい制度である。
- *学生の意見等を聞きながら、継続して実施してもらいたい。

② ホームページの充実

- *他市町村のホームページと比べても見劣りしない。

※事務事業名の○付き数字は、体系図の主な事業の数字になります。

平成22年度 教育施策評価一覧表

重点施策 2 教育環境の整備充実

推進目標（1）学校施設等の整備充実

事務事業名	事業概要	取組状況	決算見込額 (単位：千円)	成果・効果	課題 問題点	今後の方向性
①学校施設の耐震補強・維持管理	酒々井小学校校舎・大室台小学校校舎・酒々井中学校校舎・体育館の耐震補強大規模改造工事を実施する。	A	526,809	平成23年2月末に工事が完成し、町内小中学校施設の耐震化率100%を達成した。	引き続き施設の維持管理に努める。	現状維持

推進目標（2）子育て支援の充実

②子ども手当・児童手当の支給	子ども手当は次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを社会全体で応援する新しい制度→広報紙等で制度の周知	A	345,864	子ども手当：支給対象は中学校修了 H22年度子ども手当児童延数：24,508人		現状維持
③保育園の円滑な運営	中央・岩橋保育園で、通常保育のほか時間外保育や一時保育、園庭開放などを行い、子育て支援の充実に努める。	A	305,450	3/1園児数 中央：65名 岩橋：145名 時間外保育延1,336名 一時保育延195名 昭苑保育園整備への補助		現状維持

推進目標（3）学校運営への支援

④図書館教育の充実	読書習慣の形成と学校図書館活用能力の育成を図るため、各校に1名の学校図書アシスタントを配置	B	1,620	学校図書アシスタントを週3日配置→町図書館との連携 H21:1.6冊/月 H22:2.7冊/月		現状維持
⑤学校適応専門相談員の配置	不登校児童生徒に対し、学校への復帰支援のため、ふれあいルームに、学校適応専門相談員2名を配置	B	2,732	週3日勤務し、通級者への相談活動学習指導等を行い、4名の通級者が部分的ではあるが登校できた。		現状維持

【評価委員会からの意見等】

① 学校施設の耐震補強・維持管理

*避難所としての機能もあり、耐震化が順調に進み、耐震化率が100パーセントを達成できたことで、安心している。

③ 保育園の円滑な運営

*待機児童はいないということだが、保育需要はある。

平成22年度 教育施策評価一覧表

重点施策 2 教育環境の整備充実

推進目標（4）特色ある教育活動の推進

事務事業名	事業概要	取組状況	決算見込額 (単位：千円)	成果・効果	課題 問題点	今後の方向性
①人権同和教育の推進	推進校の指定、児童生徒への「人権教育の視点に基づいたアンケート」の実施、人権作文集、人権・同和教育推進資料を作成	A	97	アンケートの結果、酒々井小では「自己有用感」の育成が課題となりその向上のための研究会を進めた。		現状維持
③小中連携推進事業の推進	小中学校間の学習指導や生徒指導における継続性や接続の円滑化を図る。 小中児童交流会 教職員の人的交流	A	0	中学校での小学6年生を対象にした部活動見学会や中学校教員による小学校での授業実施		現状維持

推進目標（5）教育条件の整備

③就学援助事業	経済的理由により、就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、援助を行う。	B	8,219	就学援助認定数 小学校：48件 中学校：41件 援助対象：学用品費 給食費等		拡大 中学校の部活動費用も援助に加える。
---------	---------------------------------------	---	-------	--	--	-------------------------

推進目標（6）教職員の資質向上

②組織マネジメントの推進	リーダー的な立場の教育の育成のため、主任クラスを対象とした学校組織マネジメント研修を年4回開催する。	A	0	4回の研修にそれぞれ約10名参加 第1回：戦略的な広報と学校評価 第2回：教育法規と教職員の服務 第3回：特別支援教育について 第4回：確かな学力の向上にむけて		現状維持
--------------	--	---	---	--	--	------

【評価委員会からの意見等】

① 人権同和教育の推進

*人権同和教育の推進については、評価に値する。

平成22年度 教育施策評価一覧表

重点施策 3 生涯学習の推進

推進目標（1）生涯学習事業への参加促進

事務事業名	事業概要	取組状況	決算見込額 (単位：千円)	成果・効果	課題 問題点	今後の方向性
②子ども会の円滑な運営	町子ども会育成連絡協議会事業を実施にあたり、理事会だけでなく役員が主体となった役員会も開催し、相互理解を深める。	B	392	町子ども会理事会6回、役員会4回開催 子ども会数：12 加入者：622名（うち小学生394）		現状維持
③人権教育セミナーの充実	人権尊重の理念に対する理解を深めるための機会の提供として、人権教育セミナーを引き続き実施 年6回	B	450	若者、子ども、ホームレス、高齢者などをテーマに講演会を6回開催 参加者：延818名		現状維持

推進目標（2）学習機会の拡充及び学習活動の支援

①主催講座及びイベントの拡充	3年制の町民大学「カレッジコース」や取り組みやすい短期講座など13講座と5つのイベントを実施する。	B	500	カレッジコースは予定どおり実施 10月からボランティアによる小学校3・4年生を対象の「学ぶ土曜日：青樹堂」を実施した。		現状維持
----------------	---	---	-----	--	--	------

推進目標（3）教育機関の施設整備及びサービスの充実

③図書館システムの更新	図書館システムの安定稼働を確保し、より円滑な業務の推進とサービスの向上を図るため、関連ソフト・ハードウェアを導入	A	882	8/5:制限付き一般競争入札 9/1:賃貸借契約を締結 12月：機器入替 操作研修 1/5:新システム運用		現状維持
-------------	--	---	-----	--	--	------

推進目標（4）健康づくりの推進

①栄養指導の充実	栄養士・栄養教諭による給食を通しての食の大切さや生活習慣病予防講演会などによる食育指導を行う。	A	98	小学校：各学年クラス単位で給食前に食の大切さを指導 中学校：生活習慣病予防講演会等を実施		現状維持
----------	---	---	----	--	--	------

【評価委員会からの意見等】

③ 人権教育セミナーの充実

*他の行事との同時開催などにより、参加者増のための工夫をすべきである。

① 主催講座及びイベントの拡充

*移動美術館は好評であり、継続して実施してもらいたい。

*青樹堂の実施に際し、ボランティアの取り扱いなどを含め、継続していけるように内容の検討を進めてほしい。

③ 図書館システムの更新

*図書の実質、新刊の購入をお願いしたい。

平成22年度 教育施策評価一覧表

重点施策 4 スポーツと文化の創造

推進目標 (1) 文化財の保存整備と普及・活用

事務事業名	事業概要	取組状況	決算見込額 (単位：千円)	成果・効果	課題 問題点	今後の方向性
①本佐倉城跡復元整備に係る基本設計作成と調査整備委員会の実施	平成25年度から予定する本格的な復元整備に向け、基本設計の作成を今年度から2カ年で委託 併せて調査整備委員会を開催	B	2,017	平成22年6月、国史跡の城跡復元整備事業経験のあるコンサルタントと業務委託契約 調査整備委員会を4回開催		現状維持
④文化財管理及び景観資源の基本調査	本佐倉城関連を中心とする町内出土考古資料の再整理や埋もれつつある文化財等についての内容把握を目的に景観資源基本調査を実施し、公開・活用を図る。	B	6,915	専属の文化財調査員1名、補助員2名を雇用し、資料・書籍の電子化を実施した。 公開事業では、古文書等の資料整理を行った寺子屋「青樹堂」の資料展示を実施		現状維持

推進目標 (2) スポーツ・レクリエーションの推進

①各種スポーツ教室・大会の開催	体育指導委員・健康体力づくり推進員・体育協会などの各種団体の役割に応じた各種スポーツ大会などを引き続き開催する。	B	3,122	体育指導委員によるウォークラリー大会・スポレク祭、健康体力づくり推進員によるウォーキングによる体力づくり、体育協会による各種スポーツ大会に延3,272名が参加		現状維持
③ゆめ半島千葉国体、印旛郡市民体育大会の円滑な開催	ゆめ半島千葉国体は、実行委員会・競技運営委員会を組織して円滑な運営を図る。 印旛郡市民体育大会は、町体育協会専門部が中心となって開催する。	A	2,397	国体は、実行委員会3回、競技運営委員会5回、プレ大会を開催し、303名の参加者を迎え盛大に開催することができた。郡市民体育大会は16競技245名が参加 町の部優勝		休 止 印旛郡市民体育大会は隔年担当のため

【評価委員会からの意見等】

① 本佐倉城跡復元整備に係る基本設計作成と調査整備委員会の実施

* 復元整備に際し、休憩施設や出土品の展示スペースの整備を調査整備委員会で検討してもらいたい。

① 各種スポーツ教室・大会の開催

* 高齢者が参加できる種目の検討をしてほしい。